

学力高い子供は「草食系」?

学力の低い生徒ほどチャレンジ精神が旺盛で将来の起業にも意欲的。10代の子供たちの学力と将来の夢や目標との関連性を分析した調査結果を、教育関連のNPO法人「次世代育成フォーラム・リスタ」(東京都文京区)が発表した。調査担当者は、学力が高い子供ほど「草食系」と分析している。

16都府県、中学生1万8000人対象 将来の夢を調査

低い子供は「野心的」傾向も

学生約1万8000人を対象に実施。国語、数学、英語の3教科の学力テストと、将来の目標や夢などを尋ねる58問の意識調査を併せて行った。学力テストの結果で上位、中位、下位の3グループに分けて分析した。「起業についてどう考えるか」という質問に、下位層の10・4%が「いつかは必ず起業する」と答えたのに対し、上位層は41・5%にとどまった。一方で下位層の20%が選んだ「フットボール選手や芸能人など特技や才能を生かして個人で活動する」は、上位層には人気がなく8・4%だけだった。

「起業についてどう考えるか」という質問では、上位層は過半数(58・6%)が「日本企業や公務員などに就職する」と答えたのに対し、下位層は28・9%と10%以上

の差が開いた。大学卒業後の進路に關する設問では、上位層は大きく、野心的。今はた

だ、学力テストで結果が出せていないだけ」と話している。「井上俊樹」

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

中学生の夢 学力上位層は「草食系」 チャレンジ志向の下位

進学院の協力で国教英3教科の学力テストの際、職業観や未来観など58項目のアンケートを実施。学力を上位、中位、下位の3つに分けて関連性を分析した。学力別の傾向で差が目立つたのが大学卒業後の進路について。「日本の企業や組織に就職」(上位58・6%、中位52・3%、下位41・5%)、「特技や才能を生かして個人で活動(プロカ課題)」と話す。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

「夢を持っている」という生徒は平均で7割以上で、学力別で差はあまりないが、学年が上がるにつれ夢を持つ割合は少なくなる。調査担当者は「学力上位の方が目標を明確に持っている」と話している。

トピック 学力は野望の高さと反比例!?

学力の高い子は安定志向の「肉食系」、学力が低い子はチャレンジ志向の「肉食系」――。

中学生の学力と、自分の将来や夢などの意識にどんな関連があるかをNPO法人「次世代育成フォーラム・リスタ」(東京都文京区)が調べ、こんな結果が見えてきた。調査は今年4月、東北から中

部までの中学生約1万8千人を対象に、英語(1年生を除く)、国語、数学の学力試験と意識に関する58問のアンケートを同時に行った。

大学を出た後、国内の企業や組織(公務員を含む)に就職するという子は、学力の高い子で58.6%なのに対し、低い子では41.5%。一方、プロスポーツ選手や芸能人など特技や才能を生かして個人で活動するという子は高い子で8.4



イラスト・野村マサオ

部だけの中学生約1万8千人を対象に、英語(1年生を除く)、国語、数学の学力試験と意識に関する58問のアンケートを同時に行った。

また、1将来の夢がある」と答え、た子に内容を選んでみると、高い子は「いい大学に入りたい」が

学力の高い子は現実的で慎重な傾向

53.5%で低い子の36.9%を上回ったが、「有名になりたい」という野望を持つ子は、低い子が18.2%で高い子の11.5%を上回った。

学力が高い子ほど能力に自信があるものの、社会の厳しい現実を冷静に見つめ、慎重になる傾向があるようだ。

担当者「将来や夢に対して、希望を失わないことも必要」としているが、キミにも当てはまりそ

ろかな?

ろかな?

ろかな?

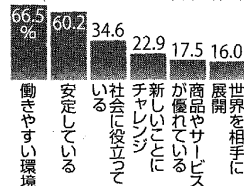
打ち続く就職難。そんな中、中学生に将来の会社選びの基準を尋ねたところ、「安定性」が6割を超えるなど、安定志向が低年齢化していることがわかった。

調査をしたのは、NPO法人「次世代育成フォーラム・リスタ」。今年4月、同法人が進学塾の市進学院の協力で学力テストを行った際、受験した中学1年～3年の1万7966人から回答を得た。

就職したい会社として、「働きやすい環境」66.5%に続き、「安定している」が60.2%も占めた。一方、「世界を相手

60.2% ■ 会社選び 安定志向の中学生

◆中学生が答えた会社選びの基準
(2010年4月、次世代育成フォーラム・リスタ調査より、複数回答)



に展開」は16.0%、「新しいことにチャレンジ」も22.9%に過ぎなかった。

しかも、この安定志向は、

データで見る

テストの成績が良い生徒の方が強かった。同法人は「学力が高い生徒はニュー

スに敏感。就職難を耳にし、慎重になっているのでは」とみている。

一般に、学力がつくほど、将来の進路も広がると言われる。それが実際には、子どもが夢を失う方向へつながっている。そんな社会はつまらないか。(石塚公康)

「私の先生」「データで見る」「英語など」は毎週水曜掲載です。ご意見は〒104-8243読売新聞東京本社教育取材班へ。ファクス03-3217-9908、メールkyouiku@yomiuri.com